

飛魚



第 33 号

令和 4 年 9 月

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター



<http://www.tanegashima-mc.jp/>



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER

理 念

島民の皆さまに愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます

基本方針

1. 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りをいたします。
- ・救急体制を充実し、24時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割りを果たします。

2. 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます。
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

3. 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

表紙「飛魚」：田上悠峯 書

「悠峯」とは、義順顕彰会会長 田上容正が、公益財団法人
日本習字教育財団から命名された雅号です。

表紙について

2022年の干支である寅と色鮮やかな秋の果物は、回復リハビリ病棟と地域包括ケア病棟の患者様たちが手掛けたもので、季節ごとに制作される作品は院内ギャラリーとして病棟での楽しみとなっています。2月に満開となる古田の川脇川沿いの河津桜と、西之表港のロケット灯台にかかる夕日の写真は、当センター職員の作品です。

表紙・扉写真

撮影者：薬剤部 渡辺祥馬

目次 Contents

理念・基本方針

巻頭言	病院長 高尾 尊身	4
理事長挨拶	理事長 田上 寛容	6

概要

沿革	10
概要	22
組織図	25
委員会・会議組織図	26
在籍医師紹介	27
職員数	30
病院日誌	31

実績

種子島医療センター 統計資料	37
診療部門	45
診療支援部門	56
へき地医療センター	64
田上診療所	66
介護老人保健施設 わらび苑	68
関連施設	70

寄稿

池村紘一郎先生を偲んで	会長 田上 容正	74
種子島医療センターとの20年を振り返り	鹿児島大学医学部保健学科教授 根路銘 安仁	75
限界突破	鹿児島大学医歯学総合研究科小児科学分野教授 岡本 康裕	76
治水神社に献茶	内科診療科医長 島田 紘一	77
種子島医療センターでの地域枠実務研修を振り返り	地域枠実務研修医師 日高 敬文	78
飛魚に寄せて	外科医師 富田 実代	79
離島医療との融合で新たな診療看護師の形を	副看護部長 竹之内 卓	80
鹿児島県医師会会長賞（看護業務功労）受賞に寄せて	看護部長 戸川 英子	81
種子島医療センターでの研修を終えて		82

部門別紹介

【診療部】

外科（消化器・乳腺甲状腺）	103
内科・総合診療科	105
循環器内科	106
消化器内科	107

眼科	108
泌尿器科	108
整形外科	109
脳神経外科	110
小児科	111
麻酔科	113
脳神経内科	114
糖尿病内科	115
ペインクリニック内科	116
心療内科	116
【看護部】	
看護部理念	
看護部長室	118
外来	122
手術室・中央材料室	125
2階病棟（外科・脳外科・整形外科病棟）	126
3階西病棟（内科・眼科・小児科病棟）	128
3階東病棟（地域包括ケア病棟）	130
4階病棟（回復期リハビリテーション病棟）	132
透析室	134
外来化学療法室	136
救急チーム	137
クラーク室	138
【診療支援部】	
薬剤室	140
中央画像診断室	142
中央検査室	143
臨床工学室	144
栄養管理室	146
リハビリテーション室	148
各チーム紹介・活動紹介	149
組織図	157
療法士修了証一覧	158
地域医療連携室	159
【事務部】	
総務課	162
医事課	163
広報企画課	164
【直轄部門】	
医療安全管理室	166
システム管理室	167
感染制御部	168

院内委員会活動

NST（栄養サポートチーム）委員会	172
緩和ケアチーム	173
看護部教育委員会	174
リスクマネジメント委員会	176
医療安全管理委員会	177
摂食嚥下ワーキンググループ	179
認知症ケアワーキンググループ	180
接遇推進委員会	181
転倒転落防止委員会	182
輸血療法委員会	182

関連施設

田上診療所	184
訪問看護ステーション 野の花	185
介護老人保健施設 わらび苑	187
訪問リハビリテーション事業所	188
院内保育所	190

活動紹介

種子島医療センターサーフィン部（TSC）	194
種子島医療センターテニス部	195
種子島医療センターバスケット部	196
エクスプローラーズ鹿児島	197
プロテニスプレーヤー 姫野ナル	198
緩和ケア研修会報告	199
就業体験学習報告/看護部職業体験学習	201
職業体験学習報告/診療放射線技師職業体験学習	204
ふれあい看護体験報告	205
報道・広報関係	209

研究・研修

病院長が選んだ Good Job 賞	212
医師業績・看護師業績・療法士業績	213
院内看護研究発表会	214
リハビリテーション室研究発表会	214
院内研修会実施状況	215
研修報告書優秀者	217
永年勤続表彰者	219

医療戦士を癒やす島 — 遷延する非日常医療の中で —



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

令和3年度、前年に引き続きCOVID-19が世界を支配したかのように、これまでの日常を非日常化しました。種子島でもコロナ禍の中で多くの住民が非日常を強いられています。本院の医療最前線では感染リスクがある中、すべての患者へ懸命に寄り添う多くの医療従事者が頑張っています。彼らこそCOVID-19に挑む医療戦士と言えるでしょう。

第6波のオミクロン株によるコロナ禍はいまだ収束の兆しが見えず、これまでの波の中で最も高く、最も長い波となりました。さらに、変異株による第7波が始まり、「withコロナ」の日々は続き、マスクをするのが日常で、マスクをしないことが非日常のようです。七夕の日、幼稚園児らが本院を訪問し、外来ロビーで歌を披露してくれたのですが、マスクをしながらも元気よく唄う子ども達を見て、心が痛んだのは私だけではないでしょう。

思えば第6波の中、私どもの種子島医療センターでもとうとうクラスターに見舞われました。オミクロンの強大な感染力は99.9%の防護でも0.1%の隙を突破したのです。まさに瞬時の出来事で職員は元より入院患者を含む多くがPCR陽性となりました。ウイルスが本気を出せば完璧と思える防護壁も軽く飛び越えてしまう。そのことを痛感させられた出来事でした。それでも、私たちは何度でも立ち上がり戦わなければならないのです。私たちの結末に「敗北」は無いのですから。

前年度から進めている「しあわせの島、しあわせの医療」では幾つかのことが軌道に乗ってきたようです。まず、感染対策はクラスターの経験を経てより充実し、全体の意識が上がってきたと思います。そこで、4月からの診療報酬改定での感染症対策では加算1を申請したところ。また、救急医療の改善を試みています。チーム医療による救急医療がこの島には不可避だと考えてきたからです。コロナ禍、診療報酬改定そして看護師不足の今がタイミングと判断しました。さらに、コロナ禍だからこそ沈滞ムードを吹き飛ばす(つもりで)給与アップを断行しました。吉と出るかは職員次第ですが、きっと期待通りの医療を担ってくれると確信しています。

オミクロンに振り回され続けている離島医療では職員とその家族が感染のリスクの中にいます。コロナ禍の非日常の中で行なう医療行為には大きなストレスが伴います。我が国には多くの離島がありますが、これら離島はストレスを癒やす力を備えているのではないかと私は思ってい

ます。中でも、種子島は適度の大きさ、適度の人口、歴史、自然、地政学的位置、住民のやさしさと営み、とくに農畜産業と漁業は卓越しており、私たちの心はもとより毎日の生活に潤いを与え続けているのではないのでしょうか。

本院は、『患者さんたちへ「しあわせ」を提供するための医療機関として、患者さんに寄り添う姿勢を大切にしている』を掲げています。今、ウクライナの戦禍の中で医療従事者の方々が負傷者へ寄り添う映像を観る度に、私たちが平和の中で医療ができる幸運に心から感謝したい。これからも、住民を守るために医療の「盾と矛」を駆使するあなた方「戦士」の活躍がコロナ後の未来に希望をもたらすのです。

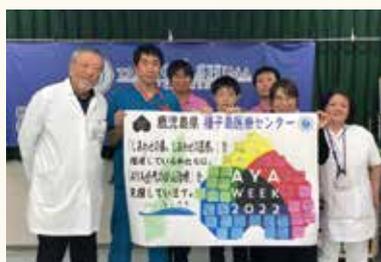
そして、コロナ禍の医療に疲れ果て時、この素晴らしい島が医療戦士を癒やし、かつ鼓舞してくれることでしょう。



種子島中学校にかけられた横断幕「医療従事者は僕らのヒーロー」



Tokyo MXテレビ撮影の様子



AYA WEEK 2022

禍福は糾える縄の如し



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
理事長 田上 寛容

かふく あぢな なわ ごと
“禍福は糾える縄の如し”

とても好きな言葉です。大意としては、人生は良いことばかりではないし、悪いことばかりでもない、というところでしょうか。

コロナ禍になり、不自由な生活を強いられることになりました。マスクが外せなくなりました。自由に旅行ができなくなりました。でも、悪いことばかりではなかったのだと思います。この、ものがあふれている世界で、本当に必要なものが分かるようになりました。人と人の繋がりの大切さに改めて気づくことができました。少し時間がゆっくりになり、いろいろなことを見つめ直す時がふえるようになりました。

種子島の医療で言えば、離島に特有の水際対策、限られた医療資源を活用した感染対策、本土との連携による感染症診療など大変なことも多かったのですが、島内の様々な機関が連携して、この種子島を守るという気持ちと繋がりが生まれたのはとても良かったことだと思います。

種子島の医療介護は、高齢化、人口減少、人材不足などの問題を抱えていますが、その反面、この種子島でしかできない医療介護があります。人と人との距離が近く、患者、利用者に寄り添った本来の医療介護が提供できます。

種子島での生活は、都会ほど便利ではありませんが、自然に囲まれて豊かな時間を過ごすことができます。

これから先、コロナ禍がどうなるのかまだ予想もつきませんが、義順顕彰会は、これからも、この美しい島で、穏やかな島の人々と、一緒に歩んでいきたいと思っています。



永年勤続表彰者の皆さんと



コロナワクチン接種会場で



Tokyo MXテレビ撮影の様子



2021年10月に新職員宿舎完成

病院概要

沿革

概要

組織図

委員会・会議組織図

在籍医師紹介

職員数

病院日誌



沿革

黎明期 1969～1983(昭和44～58)年

1969年、会長田上容正が実家のあったこの場所に「田上容正内科」を建設。種子島の皆様に愛される病院を目指し、13床の診療所からスタート。スタッフも医療機器も足りず、十分な医療設備のない中、島民の命を守る医療を懸命に模索した。

1969(昭和44)年	12月	田上容正内科開院
1980(昭和55)年	2月	人工透析開始
1981(昭和56)年	9月	医療法人容正会設立
1982(昭和57)年	5月	28床になる

発展期 1984～1998(昭和59～平成10)年

「本土並みの医療をいつでも受けられるように」と、医療体制と質の充実を図るため施設を拡張し、高度な医療機器を導入。鹿児島大学病院から医師が派遣されるようになり、ほとんどの外科手術が可能になった。1989(平成元年)年には、創立20周年を記念して院内報『飛魚』を創刊。

1984(昭和59)年	3月	56床病院を新築 全身用CTスキャナ導入
	7月	医療法人義順顕彰会 田上病院設立
1985(昭和60)年	11月	病床数99床になる
1987(昭和62)年		救急告示病院認定
1989(平成元年)年	12月	20周年記念 院内誌『飛魚』創刊



院内報「飛魚」創刊号

1990(平成2)年



第2号

1991(平成3)年

7月 介護老人保健施設わらび苑開設
(入所50床、通所10名)



第3号

1992(平成4)年



第4号



第5号

1994(平成6)年

1月 MRI設置
脳神経外科新設
標榜科目8 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、
脳神経外科)

2月 病床数202床になる

6月 高気圧酸素治療装置導入

7月 泌尿器科新設
標榜科目9 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、
理学療法科、脳神経外科、泌尿器科)



第6号

1995(平成7)年

1月 病床種別変更 (一般病床157床・療養型病床群45床)

3月 わらび苑 痴呆棟開設のため78床に増床
(痴呆20床、一般58床)



第7号

1996(平成8)年

11月 理学療法科をリハビリテーション科へ変更
リウマチ科新設
標榜科目10 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテー
ション科、脳神経外科、泌尿器科、
リウマチ科)



第8号

沿革

1997(平成9)年	4月	眼科新設 標榜科目11 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科)
	5月	訪問看護ステーション「野の花」開設
1998(平成10)年		院外処方箋運用開始



第9号



第10号

転換期 1999～2009(平成11～20)年

病棟の再編を重ね、いち早く電子カルテを導入するなど、さらなる充実を目指し、新たな医療に挑む。こうした離島医療への貢献が認められ、当時理事長であった田上容正は2007(平成19)年に医療功労賞、2008(平成20)年に県民表彰を受賞。2009(平成21)年には『飛魚』が院内報から年報誌に。

1999(平成11)年	4月	田上病院院長に田上容祥就任
	6月	理学療法Ⅱ認可
	7月	種子島サンセット車いすマラソン大会に救護ボランティアとして参加
2000(平成12)年	2月	麻酔科、放射線科新設 標榜科目13 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科)



第11号



第12号

2001(平成13)年	2月	6階建に増築
	5月	作業療法Ⅱ認可



第13号

2002(平成 14)年

電算室増築

8月

循環器科新設・リウマチ科廃止
 標榜科目13 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリ
 テーション科、脳神経外科、泌尿器科、
 眼科、麻酔科、放射線科、循環器科)



第 14 号

2003(平成 15)年

2月

オーダーリングシステム稼働 (シーエスアイ)

4月

田上診療所開設 (所長に竹野孝一郎就任)

5月

第二種感染病床 2 床、結核モデル病床 2 床 使用許可

6月

病床種別変更 (一般病床157床から202床に
 <うち第二種感染症病床 2 床>・結核モデル病床
 2 床新設・療養型病床群廃止)

8月

病床種別変更 (一般病床202床のうち、回復期
 リハビリテーション病棟36床認可)
 看護支援システム稼働



第 15 号

2004(平成 16)年

1月

電子カルテシステム (診療記録)
 稼働 (シーエスアイ)

5月

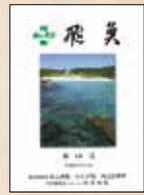
心臓カテーテル検査開始

6月

病院機能評価 複合B認定
 地域リハビリテーション広域支援センター指定

10月

病棟再編
 内科病棟・整形病棟移動



第 16 号

2005(平成 17)年

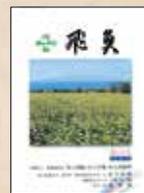


第 17 号

2006(平成 18)年

4月

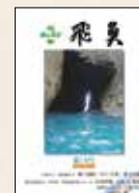
病棟再編
 15対 1 入院基本料 (166床)
 結核入院基本料 (2 床)
 回復期リハビリテーション病棟 (36床)



第 18 号

沿革

2007(平成 19)年	5月	病棟再編 15対1入院基本料(202床) 3階東病棟 回復期リハビリ病棟の取り下げ 3階東病棟、4階病棟移動 結核モデル病床2床
	7月	病棟再編 15対1入院基本料(154床) 結核入院基本料(2床) 4階病棟 回復期リハビリテーション病棟(48床)
	9月	13対1入院基本料(154床)
	11月	10対1入院基本料(154床)
2008(平成 20)年	1月	心療内科新設 標榜科目14(内科、外科、整形外科、皮膚科、 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリ テーション科、脳神経外科、 泌尿器科、眼科、麻酔科、 放射線科、循環器科、心療内科) 田上容正理事長「医療功労賞」受賞
	12月	看護師寮新築
2009(平成 21)年	1月	中央材料室・手術室改築 田上容正理事長「県民表彰(鹿児島県)」 「市民表彰(西之表市)」受賞
2009(平成 21)年	4月	亜急性期病床8床運用開始(3階東病棟8床) DPC請求開始 管理棟新築 呼吸器科新設 標榜科目15(内科、外科、整形外科、皮膚科、 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、呼吸器科) 『飛魚』が年報誌に



第19号



第20号

5月	薬局改築 安全キャビネット・クリーンベンチ導入
6月	「日本医療機能評価Ver5.0」 認定
9月	亜急性期病床12床へ増床（3階東病棟8床、3階西病棟4床）
10月	田上病院開院40周年記念式典

飛躍期 2010～2019(平成22～令和元)年

種子島をはじめ、熊毛医療圏の地域中核病院としての責任を果たすため、社会医療法人として再出発。創立からの目標であった島内完結医療の実現に向け、他の医療施設や介護保険施設と連携を取り、未来を見据えた新しい離島医療に取り組む。

2010(平成22)年

2月	リウマチ科新設 標榜科目16（内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科）
4月	社会医療法人認定、改組 会長に田上容正就任 理事長に田上寛容就任
6月	副院長に田上純真就任
8月	ハイケアユニット4床設置（2階病棟） 鉄砲まつり手踊り参加
12月	「鹿児島県がん診療指定病院」指定



第21号

2011(平成23)年

4月	消化器内科新設 標榜科目17（内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科、消化器内科）
----	--



第22号

沿革

2012(平成 24)年	8月	新電子カルテシステム稼働 (ソフトウェア・サービス)	
	9月	亜急性期病床16床へ増床 (3階東病棟12床、3階西病棟4床)	
	11月	ハイケアユニット4床廃止	
2013(平成 25)年	1月	介護保険訪問リハビリ開設	
	4月	亜急性期病床20床へ増床 (2階病棟8床、 3階東病棟8床、3階西病棟4床)	
	5月	320列CT導入 MRI更新 検査室、小児科周り改修工事	
2014(平成 26)年	1月	X線TV装置 (X線透視装置) 更新	
	2月	生化学検査機器更新 自動精算機1、2号機更新	
	3月	DMAT隊結成	
	4月	副会長に田上容祥就任 病院長に高尾尊身就任 副院長に山口智代子就任	
	8月	放射線室内ネットワーク機器更新	
	9月	検査画像統合システム・放射線情報管理システム更新	
	10月	亜急性期病床廃止 遠隔医療支援システム (SCOPIA) 稼働	
	12月	自動分包機稼働	
	2015(平成 27)年	1月	病棟再編 3階東病棟 地域包括ケア病棟42床



第23号



第24号



第25号



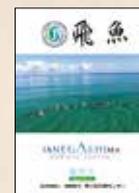
第26号

4月	<p>脳神経外科医師の非常勤体制開始 (常勤医不在)</p> <p>へき地診療支援センター開設 (センター長に猿渡邦彦就任)</p> <p>法人事務局長に羽生守彦就任</p> <p>肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、 消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科新設</p> <p>標榜科目25 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、 麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、 リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、 血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科)</p>
5月	<p>遠隔病理診断システム導入</p> <p>末血検査機器更新</p> <p>医師住宅5棟完成(松島)</p> <p>ステラッド滅菌器更新</p> <p>ペインクリニック内科新設</p> <p>標榜科目26 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、 麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、 リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、 血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科、 ペインクリニック内科)</p>
6月	鼻用手術装置導入
7月	<p>田上診療所休診(8月末まで)</p> <p>耳鼻科手術開始</p>
8月	<p>回転用X線撮影装置更新</p> <p>外科用X線テレビシステム更新</p>
9月	病理解剖1例目実施
10月	脳神経外科 常勤医師による診療開始

沿革

2016(平成 28)年

- 1月 無停電源装置更新
- 3月 結核病棟の陰圧工事
- 4月 病院名を種子島医療センターに変更
 病院長補佐に花園幸一外科部長、北園和成内科部長を任命
 看護局長に山口智代子就任
 看護部長に戸川英子就任
- 5月 「地域がん診療病院」指定(厚生労働省)
 がんサロン「サロン種子島」開設
 医師住宅(単身赴任者用)2棟完成(松島)
 眼底撮影システム一式更新
- 8月 全自動散剤分包機(Sinngle-R93Z II)更新
- 9月 病院内空調機更新
 訪問リハビリテーションを訪問看護ステーション「野の花」に編入
- 10月 鹿児島県行政視察(県議会環境厚生委員会)
- 12月 超音波診断装置ARIETTA70更新
 生体情報モニターシステム(オムロンV7000)更新



第27号

2017(平成 29)年

- 1月 種子島医療センター病院祭
- 2月 病理解剖2例目実施
- 3月 医師住宅2棟完成
- 4月 わらび苑施設長に猿渡邦彦就任
- 5月 鹿児島県総合防災訓練参加(DMAT隊)
- 7月 内視鏡室改修および内視鏡システム更新
- 9月 ベッド更新10台
- 10月 「日本ヒト細胞学会学術集会 in 種子島」開催(大会会長 高尾尊身病院長)
 DMAT訓練に参加



第28号

2018(平成 30)年

- 3月 平成29年度西之表市災害対策訓練参加
医師住宅 2 棟完成
- 4月 わらび苑施設長 猿渡邦彦 種子島医療センターへ異動
わらび苑施設長に池村紘一郎就任
ベッド更新50台
看護師特定行為研修者養成開始 (2名を鹿児島大学へ派遣)
- 6月 IABP装置導入
「Life on the long board 2nd wave」映画撮影
- 7月 ベッドサイドモニター 2 台
人工呼吸器 2 台増設
- 8月 副病院長に濱之上雅博就任
眼科用検査機器一式更新
鉄砲まつり手踊り参加
救急自動車導入
- 9月 「ジロ・デ・種子島2018」サイクリング大会救護支援
- 10月 種子島医療センター看護PR大使に松原奈佑さん (女優) を任命
- 11月 病理解剖 3 例目実施
電話機交換、配線工事
厨房床改修工事
日本病院機能評価機構による病院機能評価 受審
病院近隣土地の購入 (1,940.86㎡)



第 29 号

2019(平成 31/令和元年)年

- 1月 社会医療法人に係る実地検査 (鹿児島県)
- 3月 駐車場拡張工事
- 4月 鹿児島大学に寄付講座「心血管病予防分析学講座」設置
事務部に広報企画課設置
- 5月 病院機能評価 (3rdG : Ver. 2.0) 「一般病院 2」認定



第 30 号

沿革

2020(令和2)年	3月	法人事務局長 羽生守彦氏 辞職	 <p>第31号</p>
	4月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入院患者への面会制限開始	
	7月	発熱・接触者外来（簡易診察室）設置・稼働開始 モバイルリアルタイムPCR装置導入 行政合同(保健所・1市2町)での新型コロナウイルス対策本部設置 新型コロナウイルス感染症患者の搬送訓練実施（合同訓練）	
	8月	HER-SYS稼働開始 通信機器を用いたオンライン面会開始 eラーニングシステムを用いた院内研修開始	
	11月	新型コロナウイルス感染症等入院病床 協力医療機関指定	
2021(令和3)年	1月	職員宿舎建設予定地購入（1,208㎡）	
	2月	新型コロナウイルス感染症等入院病床 重点医療機関指定 法人看護局長 山口智代子氏 退任	
	3月	モバイルリアルタイムPCR装置2台目導入 医療従事者への新型コロナワクチン接種1回目実施 田上診療所院長 竹野孝一郎氏 辞職	
	4月	医療従事者への新型コロナワクチン接種2回目実施 田上診療所院長 岩元二郎氏 就任	
	5月	職員宿舎建設着工	
	6月	病院北側駐車場新設 3階西病棟トイレ大規模改修工事 ベッドパンウォッシャー4台導入	
	8月	2階病棟多目的トイレ オストメイト改修工事	

2021(令和3)年

10月 職員宿舎（スカイブルーハイツ）2棟 完成

12月 医療従事者への新型コロナワクチン接種3回目実施
2階、3階ロビー大規模改修工事
わらび苑施設長 池村紘一郎氏 辞職



第32号

2022(令和4)年

1月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 就任

3月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 辞職
救急チーム結成

5月 わらび苑施設長 松本松昱氏 就任

概 要

- 1) 名 称 社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター
- 2) 所 在 地 〒 891-3198
鹿児島県西之表市西之表 7463 番地
- 3) 電話・FAX 電話：0997-22-0960 FAX：0997-22-1313
- 4) メールアドレス master@tanegashima-mc.jp
- 5) ホームページ http://www.tanegashima-mc.jp
- 6) 開 設 者 社会医療法人 義順顕彰会
- 7) 管 理 者 高尾 尊身
- 8) 診 療 科 目 内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科
〔26 科〕
眼科、リハビリテーション科、麻酔科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科
耳鼻咽喉科、放射線科、呼吸器内科、心療内科、神経内科、血液内科
糖尿病内科、肝臓内科、腎臓内科、ペインクリニック内科、消化器外科
肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
- 9) 病 床 数 204 床（うち 3 階西病棟に感染症病床 2 床）

病 棟 名	主 診 療 科	病 床 数	4 床 室	2 床 室	1 床 室
2 階 病 棟	外 科 整 形 外 科 脳 神 経 外 科	55	11	3	5
3 階 西 病 棟	内 科 小 児 科 眼 科	59	12	3	5
3 階 東 病 棟	地 域 包 括 ケ ア	42	7	4	6
4 階 病 棟	回 復 期 リ ハ ビ リ	48	9	3	6
合 計		204	39	13	22

10) 指定種別

① 保険・公費負担医療機関

感染症指定医療機関（第二種）

感染症指定医療機関（結核）

労災保険指定医療機関

指定自立支援医療機関（育成医療）

指定自立支援医療機関（更生医療）

指定自立支援医療機関（精神通院医療）

生活保護指定医療機関

特定疾患治療研究事業委託医療機関

小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関

肝炎治療特別促進事業指定医療機関

戦傷病者特別援護法指定医療機関

原子爆弾被害者医療指定・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関

新型コロナウイルス感染症重点医療機関

② 病院機能

D P C 対象病院

へき地医療指定病院

災害拠点病院

D M A T 指定病院

救急告示病院Ⅱ類（救急指定二次）
 S A R S 受入医療機関
 エイズ治療・協力病院
 地域がん診療病院
 難病医療指定協力医療機関
 特定健診委託医療機関
 結核予防法指定病院
 結核ハイリスク者健診事業受託医療機関
 人間ドック契約病院
 ATL 検査委託実施医療機関
 肝炎診療専門医療機関
 消化器がん検診精密検査実施協力医療機関
 大腸がん検診精密検査実施協力医療機関
 肺がん検診精密検査実施協力医療機関
 乳がん検診業務委託医療機関
 石綿・じん肺検診委託医療機関
 予防接種相互乗り入れ医療機関
 日本整形外科学会認定研修施設
 日本麻酔学会麻酔科認定病院
 臨床研修関連病院
 日本外科学会外科専門医制度関連施設
 日本消化器内視鏡学会連携施設
 地域リハビリテーション広域支援センター
 理学療法士臨床実習指導施設
 作業療法士臨床実習指導施設
 日本内科学会認定医教育関連病院
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本肝臓学会肝臓専門医特別連帯施設

11) 施設基準

① 基本診療料の施設基準

- 第 309 号 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 4）
- 第 14 号 救急医療管理加算
- 第 9 号 診療録管理体制加算 1
- 第 12 号 医師事務作業補助体制加算 1
- 第 3 号 急性期看護補助体制加算（25対1 看護補助者 5 割以上）
- 第 85 号 療養環境加算
- 第 461 号 重症者等療養環境特別加算
- 第 25 号 栄養サポートチーム加算
- 第 57 号 医療安全対策加算 2
- 第 32 号 感染防止対策加算 1
- 第 37 号 後発医薬品使用体制加算 2
- 第 21 号 データ提出加算
- 第 211 号 入退院支援加算
- 第 56 号 認知症ケア加算
- 第 52 号 せん妄ハイリスク患者ケア加算

② 特定入院料

- 第 11 号 小児入院医療管理料 5
- 第 28 号 回復期リハビリテーション病棟入院料 1

第 48 号 地域包括ケア病棟入院料 I

③ 特掲診療料の施設基準

- 第 153 号 がん性疼痛緩和指導管理料
- 第 41 号 がん患者指導管理料イ
- 第 34 号 がん患者指導管理料ロ
- 第 23 号 小児科外来診療料
- 第 40 号 救急搬送看護体制加算
- 第 345 号 ニコチン依存症管理料
- 第 21 号 がん治療連携計画策定料
- 第 168 号 薬剤管理指導料
- 第 66 号 医療機器安全管理料 I
- 第 13 号 在宅患者訪問看護指導料
- 第 99 号 検体検査管理加算 (I)
- 第 47 号 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 第 28 号 ヘッドアップティルト試験
- 第 93 号 神経学的検査
- 第 187 号 コンタクトレンズ検査料 I
- 第 17 号 小児食物アレルギー負荷検査
- 第 288 号 CT 撮影及びMRI 撮影
- 第 21 号 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 第 93 号 外来化学療法加算 I
- 第 61 号 無菌製剤処理料
- 第 56 号 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
- 第 96 号 運動器リハビリテーション料 (I)
- 第 134 号 呼吸器リハビリテーション料 (I)
- 第 49 号 がん患者リハビリテーション料
- 第 14 号 認知療法・認知行動療法 I
- 第 81 号 人工腎臓
- 第 69 号 導入期加算 I
- 第 3 号 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 第 80 号 ベースメーカー移植術及びメースメーカー交換術
- 第 38 号 大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
- 第 41 号 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- 第 17 号 輸血管理料 II
- 第 2 号 輸血適正使用加算
- 第 26 号 人工肛門・人口膀胱造設術前処置加算
- 第 22 号 胃ろう造設時嚥下機能評価加算
- 第 101 号 麻酔管理料 (I)
- 第 16 号 保険医療機関間の連携による病理診断
- 第 6 号 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製

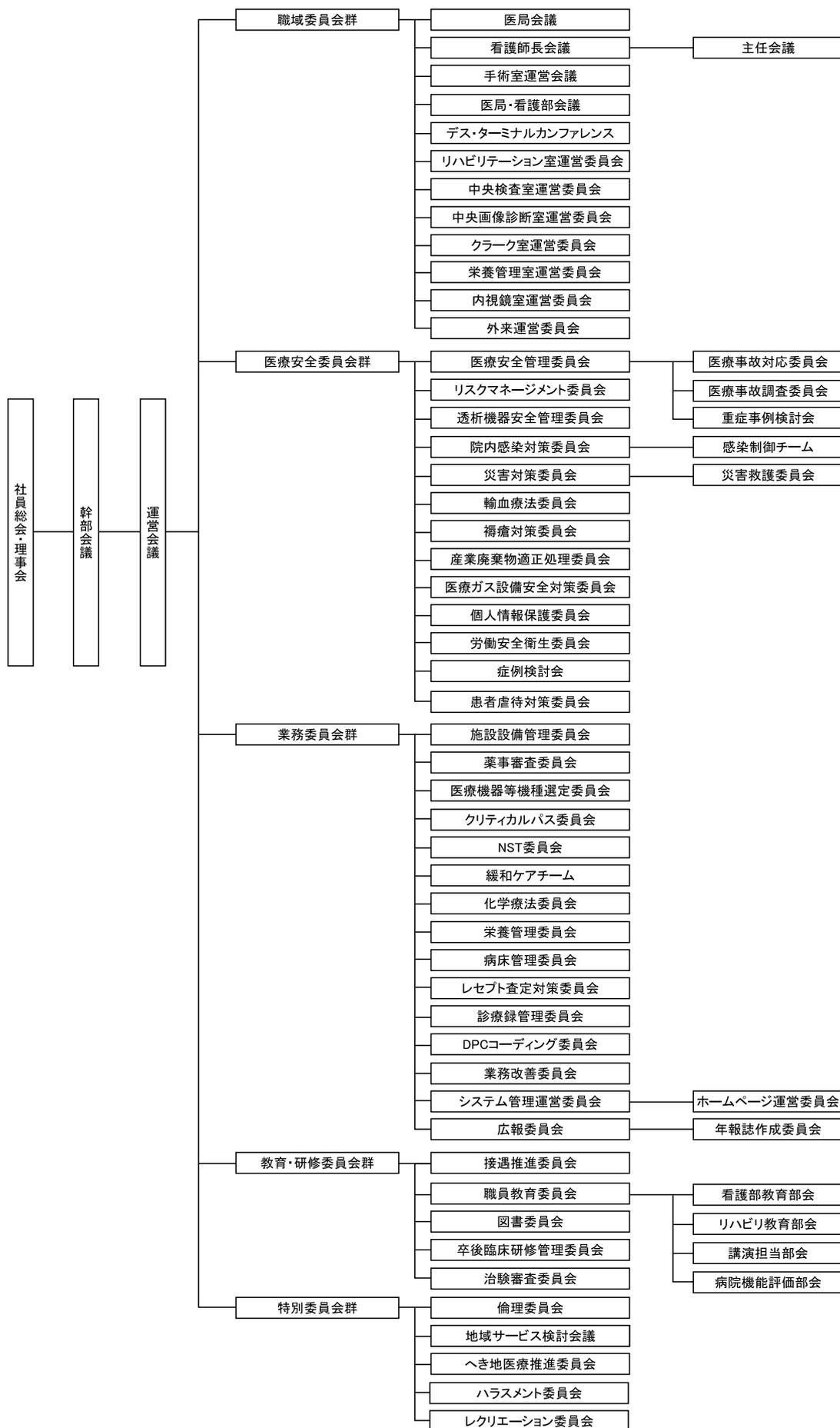
④ 入院時食事療養及び入院時生活療養

- 第 335 号 入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)

⑤ その他の施設基準

- 第 42914 号 酸素の購入単価

委員会・会議組織図



病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

在籍医師紹介

(2022年7月現在)



社会医療法人義順顕彰会 会長

田上 容正

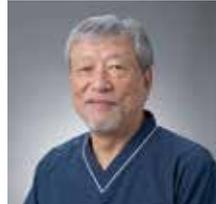
専門分野
内科一般
所属学会
日本内科学会



種子島医療センター理事長

田上 寛容

専門分野
内科一般、循環器疾患
所属学会
日本内科学会
日本プライマリ・ケア学会



種子島医療センター病院長

高尾 尊身

専門分野
外科一般、消化器外科、肝胆膵外科、消化器がん
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本肝胆膵外科学会
日本ヒト細胞学会
日本癌学会
日本癌治療学会

内科・総合診療科



診療科医長

島田 紘一

専門分野
内科一般、消化器内科
所属学会
日本内科学会
日本臨床内科医会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会



松本 松昱

専門分野
内科一般、総合診療
所属学会
日本内科学会
日本プライマリ・ケア学会

(2015年4月～2022年3月在籍 総合診療科部長)



伊集 守知

専門分野
内科一般、消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本プライマリ・ケア学会

(2019年9月～2022年2月在籍)



日高 敬文

専門分野
内科、外科
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会

(2021年4月～2022年3月在籍)

外科



種子島医療センター副院長

瀧之上 雅博

専門分野
外科一般、消化器外科、肝胆膵外科、消化器がん
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本肝臓学会
日本肝胆膵外科学会



消化器外科部長

佐竹 霜一

専門分野
消化器外科
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本内視鏡外科学会
日本胃癌学会
日本大腸肛門病学会



吉野 春一郎

専門分野
消化器外科
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会
日本腹部救急医学会



出先 亮介

専門分野
外科一般、消化器外科
所属学会
日本外科学会

(2019年7月～2022年3月在籍 外科部長)



鮫島 一基

専門分野
消化器外科
所属学会
日本外科学会
日本ヘルニア学会
日本臨床肛門病学会
日本消化器内視鏡学会
日本消化器外科学会
緩和ケア学会

(2021年4月～2021年9月在籍 外科医長)

富田 実代

専門分野
消化器外科、乳腺甲状腺
(2021年10月～2022年3月在籍)

在籍医師紹介

整形外科



整形外科部長

前田 昌隆

専門分野
足の外科、人工関節、
膝関節外科、スポーツ医学
所属学会
日本整形外科学会
西日本整形・災害外科学会
日本臨床スポーツ医学会・日本足の外科学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
九州・山口スポーツ医・科学研究会・日本人工関節学会



整形外科医長

黒島 知樹

専門分野
一般整形
所属学会
日本整形外科学会
日本脊椎脊髄病学会



澤園 啓明

所属学会
日本整形外科学会



三重 岳

専門分野
整形外科
所属学会
日本整形外科学会
西日本整形・災害外科学会
日本手の外科学会
(2021年4月～2022年3月在籍 整形外科医長)



里中 洋介

所属学会
日本整形外科学会
(2021年4月～2022年3月在籍)

脳神経外科



脳神経外科部長

駒柵 宗一郎

専門分野
脳神経外科全般
所属学会
日本脳神経外科学会
日本脳神経血管内治療学会



山岸 正之

所属学会
日本脳神経外科学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脳卒中学会

循環器内科



循環器内科部長

川島 吉博

所属学会
日本内科学会
日本循環器学会



西 晴香

所属学会
日本内科学会
日本循環器学会

眼科



種子島医療センター副院長 / 眼科部長

田上 純真

専門分野
眼科全般
所属学会
日本眼科学会

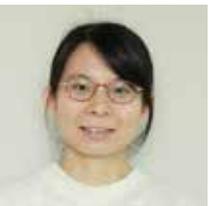
小児科



田上診療所院長 / 小児科部長

岩元 二郎

専門分野
小児科全般、発達障害
所属学会
日本小児科学会
日本小児救急医学会
日本外来小児科学会



小児科副医長

森山 瑞葵

専門分野
小児科
所属学会
日本小児科学会



井無田 萌

所属学会
日本小児科学会



岡田 聡司

専門分野
小児科全般、小児腎臓
所属学会
日本小児科学会
鹿児島県小児科医会
日本小児科医会
日本小児感染症学会
日本ワクチン学会
日本腎臓学会
日本小児腎不全学会
(2020年4月～2022年3月在籍 小児科副医長)

在籍医師紹介

消化器内科



消化器内科部長

篠原 宏樹

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本炎症性腸疾患学会
日本消化管学会



田平 悠二

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会



竹内 彰教

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本糖尿病学会
日本肝臓学会
(2020年4月～2022年3月在籍 消化器内科医長)

呼吸器内科



呼吸器内科科長

松山 崇弘

専門分野
呼吸器内科
所属学会
日本内科学会
日本呼吸器学会
日本結核病学会
日本呼吸器内視鏡学会
日本アレルギー学会

糖尿病内科



糖尿病内科科長

久保 智

専門分野
糖尿病内科
所属学会
日本内科学会
日本内分泌学会
日本糖尿病学会
日本甲状腺学会
日本超音波学会

泌尿器科



泌尿器科部長

中目 康彦

専門分野
泌尿器科一般、透析
所属学会
日本泌尿器科学会
日本透析医学会

麻酔科



麻酔科部長

高山 千史

専門分野
麻酔科全般
所属学会
日本麻酔科学会

へき地医療センター



猿渡 邦彦

専門分野
皮膚科
所属学会
日本皮膚科学会 日本臨床皮膚科学会
日本小児皮膚科学会 日本形成外科学会
(2015年4月～2022年3月在籍 種子島医療センター副院長/へき地医療センター長)

職員数

(各年度4月1日現在) 単位：人

	H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	17		21		19		20		19		21	
看護師	(計167)	(計 19)	(計175)	(計 27)	(計174)	(計 22)	(計171)	(計 25)	(計166)	(計 27)	(計163)	(計 29)
正看護師	75	9	82	12	89	7	96	9	94	7	93	8
准看護師	44	2	43	5	39	4	35	4	31	4	29	3
看護助手	33	7	34	7	33	8	28	9	32	10	32	11
クラーク	15	1	16	3	13	3	12	3	9	6	9	7
薬剤師	2	0	4	1	5	0	5	0	5	0	4	1
放射線技師	6	0	6	0	8	0	7	0	7	0	8	0
臨床検査技師	6	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
リハビリテーション室	(計 46)	(計 2)	(計 54)	(計 1)	(計 62)	(計 1)	(計 64)	(計 1)	(計 64)	(計 2)	(計 68)	(計 1)
理学療法士	23	1	27	1	32	1	38	1	37	2	42	1
作業療法士	14	1	16	0	20	0	19	0	19	0	19	0
言語聴覚士	7	0	9	0	7	0	4	0	5	0	6	0
あん摩指圧	2	0	2	0	3	0	3	0	3	0	1	0
臨床工学技士	7	0	8	0	10	0	10	0	10	0	9	0
管理栄養士	2	0	2	0	2	0	4	0	4	0	3	0
医事課	(計 15)	(計 9)	(計 13)	(計 10)	(計 11)	(計 11)	(計 10)	(計12)	(計 10)	(計12)	(計 13)	(計 11)
" (入院)	6	0	4	0	3	0	3	0	3	0	3	0
" (外来)	9	2	9	3	8	4	7	6	7	6	10	4
" (フロア)	0	5	0	5	0	5	0	4	0	4	0	4
" (電話)	0	2	0	2	0	2	0	2	0	3	0	3
医療情報管理	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
システム管理室	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	4	0
地域医療連携室	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	3	0
事務室	7	1	7	1	10	1	10	1	9	1	11	1
庶務	2	5	3	4	3	7	3	8	3	6	3	6
用度管理室	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
保育所	5	2	5	1	5	1	3	2	3	2	3	3
その他	6	3	6	4	5	3	7	3	7	3	7	3
合計	294	42	315	50	325	47	325	53	318	55	328	56

年	月	日	内 容
令和3年	4	1 8 10、11 22	新入職員入社式 EX(エクスペローラース)鹿児島 表敬訪問 職員対象新型コロナワクチン2回目接種 『きらきらコンサート』 タンゴピアニスト 大長 志野 様
	5	1～31 10 27 28 30～6/19	研修医受入(鹿児島市医師会病院 1名) 「へいじろう」2021春 第57号発刊 第35回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 吉永 匡史先生(鹿児島市医師会病院) 令和3年度 第1回社員総会・理事会(福元法律事務所) 研修医受入(済生会 松山病院 1名)
	6	1～30 14 14～30 17 20 27～7/17 28	研修医受入(北海道大学病院 1名) ビジネスマナー研修～新入社員・新社会人向け～ 講師:総務課 山下 真子 医療安全研修eラーニング 『MRI 金属吸着事故の対応(点滴台等の装飾)』 第36回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 浦島 大介先生(済生会 松山病院) 鹿児島県医師会会長賞「看護業務功労賞」受彰 園田 満治、大谷 清美 研修医受入(済生会 松山病院 1名) 第37回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 吉川 栞先生(北海道大学病院)
	7	1 1～31 2、8 7 7 15 17～8/5 18 24 27 28 29	オンライン面会・オンライン診療開始 研修医受入(福岡大学病院 1名、鹿児島医療センター 2名) 感染対策研修(Zoom)『新型コロナ対応とこれからの感染対策』 講師:感染管理認定看護師 下江 理沙 めいろうこども園 七夕飾り贈呈 EX(エクスペローラース)鹿児島 表敬訪問 第38回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 塩出 涼先生(済生会 松山病院) 研修医受入(済生会 松山病院 1名) 古田・国上小 遠泳大会(医師派遣) ふれあい看護体験(種子島高校生1名) 西之表市教育委員会主催遠泳大会(医師派遣) 新型コロナ勉強会『新型コロナ感染症の検査とその意義』 講師:病院長 高尾 尊身先生 第39回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 金城 多架良先生(鹿児島医療センター) 竹原 雅宣先生(鹿児島医療センター) 中村 亮介先生(福岡大学病院)

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

病院日誌

年	月	日	内 容	
令和3年	8	1	「へいじろう」2021夏 第58号発刊	
		1	緊急連絡網「らくらく連絡網」システム運用開始	
		1～31	研修医受入（鹿児島医療センター 2名、福岡大学病院 1名）	
		2～6	看護学生総合テーマ実習（鹿児島大学医学部保健学科3名）	
		2～31	医療安全研修eラーニング 『医療事故から見た人工呼吸器管理について』	
		5	第40回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 小野田 杏奈先生（済生会 松山病院）	
		8～28	研修医受入（済生会 松山病院 1名）	
		26	第41回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 中村 憲司先生（済生会 松山病院） 碓 知樹先生（鹿児島医療センター） 新村 和也先生（鹿児島医療センター） 川澤 貴幸先生（福岡大学病院）	
		9	1～30	医療安全研修eラーニング 『みんなで取り組む医療安全』～すべては確認から始まる～ 講師：看護部長 戸川 英子
			1～30	研修医受入（鹿児島医療センター 2名、福岡大学病院 1名）
	17～10/31		ストレスチェック実施	
	27～10/1		職員健診実施	
	27		第42回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 今辻 大貴先生（鹿児島医療センター） 本田 健先生（鹿児島医療センター） 益雪 凌介先生（福岡大学病院）	
	27		院内講演会・退職講演 外科 鮫島 一基先生	
	28		がん化学療法講演会in種子島 Web配信 座長：病院長 高尾 尊身先生 【特別講演Ⅰ】 『外来がん患者に対する薬剤師の関わり～副作用対策と病薬連携の強化を目指して～』 演者：鹿児島医療センター がん薬物療法認定薬剤師 谷口 潤先生 【特別講演Ⅱ】 『膵癌の集学的治療』 演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器・乳腺甲状腺外科 教授 大塚 隆生先生	
	10		1	感染防止対策地域連携相互ラウンド 評価実施病院：鹿児島大学病院
			1～31	研修医受入（福岡大学病院 1名、北海道大学病院 2名）
			9	市丸グループよりコロナ対策光触媒スプレー寄贈
			17	「西之表市魅力体験イベント&就活ツアー事業」施設見学 西之表市地域支援課主催
			20	年報誌「飛魚」第32号発刊
			20～22	種子島高校生職場体験 7名
			27	第43回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 西野 一輝先生（北海道大学病院） 玉槻 大輔先生（北海道大学病院） 大串 秀仁先生（福岡大学病院）
			29	院内保育所 親子参観

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

年	月	日	内 容
令和3年	11	1	職員寮「スカイブルーハイツ Ⅰ・Ⅱ」完成
		1~30	研修医受入（鹿児島医療センター 2名、福岡大学病院 1名）
令和3年	12	8	新規PCR検査機器設置稼働
		10	「へいじろう」2021秋 第59号発刊
令和3年	12	23	緩和ケア研修会
		27	「Webツアーin西之表」参加 西之表市主催
令和3年	12	29	第44回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 斧淵 奈旺先生(鹿児島医療センター) 中馬 直人先生(鹿児島医療センター) 榊 和哉先生(福岡大学病院)
		1~30	研修医受入（北海道大学病院 1名）
令和3年	12	1~1/31	研修医受入（福岡大学病院 1名）
		2	医療安全研修・eラーニング研修配信 講師：病院長 高尾 尊身先生
令和3年	12	13~18	職員対象新型コロナワクチン3回目接種
		15	地域がん診療病院研修会 Web配信 『がん化学療法看護のための基礎知識』 講師：がん化学療法看護認定看護師 山之内 信 『緩和ケアについて～がん治療を受ける人の苦痛の緩和～』 緩和ケア看護認定看護師 丸野 嘉行
令和3年	12	18	サロン種子島・クリスマス音楽会 ・榕城小学校合唱クラブの演奏VTR ・ピアノ演奏：めいろうこども園 音楽教諭 池田 栄子先生
		23	イルミネーション点灯式
令和3年	12	24	院内保育所 クリスマス病院訪問
		24	西之表基督教会クリスマスキャロル
令和3年	12	27	第45回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 片山 祐先生（北海道大学病院）
		29	仕事納め
令和4年	1	4	仕事始め
令和4年	1	4	永年勤続者表彰（12名）
		4	医療安全啓蒙活動「指さし確認ポスター総選挙」開催 金賞：3階東病棟 銀賞：2階病棟 銅賞：事務室
令和4年	1	8	東京MX Doctor's eye TV放映
		27	第46回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 安松 聖滉先生（福岡大学病院）

病院日誌

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

年	月	日	内 容
令和4年	2	8 22～26	「へいじろう」2022冬 第60号発刊 特定業務従事者職員健診
		3 15 23	<p>3 医療安全対策地域連携加算2に係る連携評価 評価実施施設：いまきいれ総合病院</p> <p>5 公開講座：熊毛地域高齢者保健福祉圏域 地域リハビリテーション広域支援センター主催 『がんのリハビリテーションとは？』 オンライン開催（西之表市民会館） 座長：リハビリテーション室 室長 酒井 宣政 ①「がんのリハビリテーションの基礎」 西 愛美 ②「がんの理学療法とは？」 岩永 浩樹 ③「がんの作業療法とは？」 渡瀬 めぐみ ④「がんの言語聴覚療法とは？」 入江 色葉</p> <p>15 種子島高校 島内企業説明会 23 令和3年度 第2回社員総会・理事会(本院4階会議室)</p>